

施策分析シート（平成26年度）

No1

施策名	高齢者施設の整備・運営支援	施策No	02-05	部課名	福祉部福祉推進課		
				課長名	山本	内線 2610	
関連部課名	福祉部介護保険課						
行政評価事業体系	分野	生涯健康都市					
	政策	02 高齢者や障がい者が安心して暮らせる社会の形成					
目的	介護等の支援を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、また、施設で適切なサービスを受けられるよう、安定的な運営とサービスの向上を図るとともに、高齢者施設の整備を進める。						
指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文		
		23年度	24年度	25年度			
	福祉の充実度			3.07	お住まいの地域では、高齢者や障がい者への福祉が充実していると感じますか？		
標	施策の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明	
		23年度	24年度	25年度	26年度見込み		目標値(28年度)
	特別養護老人ホーム入所待機者数	213	207	176	180	170	年度末現在 要介護4、5で在宅もしくは介護療養型施設入所者数
	特別養護老人ホームの施設数(定員数)	6(448)	7(588)	7(588)	7(588)	7(588)	年度末現在
	都市型軽費老人ホームの施設数(定員数)	1(9)	3(39)	3(39)	5(79)	5(79)	年度末現在
現状と課題(指標分析)	<p>○特養ホームの入所待機者数のうち、特に入所の必要度が高い要介護4・5で在宅もしくは介護療養型施設に入所している方は平成26年3月末現在176人となっている。区は、入所待機者の減少を図るため、平成24年3月に「癒しの里南千住」、平成25年3月に町屋「おたけの郷」を整備した。これにより区内の特養ホームは、合計7か所、定員588人となった。</p> <p>○区立の特養ホーム及び通所サービスセンターは、介護保険法改正の影響を踏まえながら、サービスの向上、人材の確保と処遇改善、施設修繕などを行い、安定的な運営をしていくことが求められている。また、大規模災害発生時は、福祉避難所として要介護高齢者を支えることが期待されており、指定管理者といっそう具体的な協議をしていく必要がある。</p>						
今後の方向性	<p>《今までの成果及び指標分析を踏まえて》</p> <p>大規模な特養ホームについては、第5期荒川区高齢者プランの計画どおり整備が完了した。地域密着型施設の整備をはじめ、今後の施設整備のあり方について検討していく。</p> <p>区立特養ホームについては、財務状況等を勘案し、経営支援補助制度により、引き続き施設の安定的な経営を確保し、サービスの維持、向上を図るための支援を行う。また、指定管理者との連携を緊密にし、福祉避難所の整備計画について具体的な協議を行い、福祉避難所運営に関する協定を締結したので、今後、指定管理者と協議しながら、運営マニュアルの策定を進めていく。</p> <p>低所得高齢者のための施設である都市型軽費老人ホームについて、5か所定員79人分の整備が完了した。入居状況等のニーズを見極め、今後のあり方について検討していく。</p>						

施策の分類		分類についての説明・意見等
26年度	27年度	
推進	推進	地域密着型施設の整備を行うとともに、高齢者施設の安定的な運営とサービスの一層の向上を図る。

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		24年度	25年度	26年度	27年度	
区外法人立特別養護老人ホーム建設費補助	07-01-14	12,967	11,467	継続	継続	必要性は高く、補助を継続する。
養護老人ホーム建設費助成	07-01-15	1,366	1,366	継続	継続	必要性は高く、補助を継続する。
区立特別養護老人ホーム経営支援補助	07-01-16	20,347	19,855	推進	推進	特別養護老人ホームは、介護報酬改定や従事職員の処遇など課題が多く、区立特別養護老人ホームの安定的な運営のために、積極的に支援していく必要がある。
特別養護老人ホームおよび在宅高齢者通所サービスセンター（SC）管理運営費	07-01-17	167,500	117,685	推進	推進	
合 計		202,180	150,373			